

<お遍路八十八ヶ所 1200 キロ 川柳曼荼羅>

2001年3月22日発心～28日、10月21日～12月5日結願、9日高野山
曼荼羅：宇宙の本質の姿を立体もしくは平面で表したもの



(1)

<発心ホツシの道場>

◎百葉に 優る遍路に 出でにけり

鶴飼政一 5番地藏寺に句碑

発心は 笠と白衣で 決心す

1番竺和山靈山寺ジクワリョウゼンジ

お遍路は 日々新たなり また新た

1日の出来事、お会いする人、全てが日々新たなり

羅漢さん 悲喜哀歓は 私の顔 5番地藏寺奥の院羅漢堂、案内90歳代、マドンナ

(2)

ストックは お杖でないと 傘立てに 7番十楽寺

お大師の おわすお杖は 床の間に 7番十楽寺

亡き妻の 形見いだきて 辺地へ歩む 7番十楽寺、大津住人62歳

初宿の 夕餉で左党 手あきのま 7番十楽寺、ポン友の歓送会で断酒を誓う

山と積む 廃車も遺産か 辺地の里 10番切幡寺～、世界遺産登録への制約

外人と 連れるお大師 国際人 11番藤井寺、外人野宿遍路、ザック40kg
空海は当時、中国語の会話、作文、書の達人

(3)

地が揺れて 樹林驚く 山嵐 11番藤井寺、旅館ふじや、3月24日午後伊予地震

初めての 試練やころがし 遍路坂 12番焼山寺への遍路ころがし

お大師像 霧中にニョッキリ 我迎う 12番焼山寺～遍路ころがし難所、柳水庵

亡き夫 写真かざして 妻読経 12番焼山寺

韓の舞い 名手が内儀 かいがいし 13大日寺内儀キム・ミョウソン、マドンナ

身代わりの 遍路うらやむ 留守小僧 17番井戸寺～、徳元紙店社長のご母堂、マドンナ

- (4)
- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 恥じらいつ 差し出す硬貨 まぶしかり | 17 番井戸寺～市内過ぎて、未来の <u>マドンナ</u> |
| 般若経 文字見て読めと 和尚説く | 19 番立江寺ツヅジ、勤行説教 |
| もうそこと 弛む砂利踏み 足ねじり | 3月28日 20 番鶴林寺への登山口、生名 |
| 足ねじり 歩行足りぬと 大師説く | 生名 注：歩行ホギョウ |
| 意に副わぬ 断酒でたたる 捻挫かな | 生名 |
| 酒飲める 我飲まざるは 為ならず | 龍山荘、龍山荘で歩き友が論ず |
| 酒飲みの 断酒は我を 矯めすなり | 龍山荘、「角を矯めて牛を殺す」の類？ |
- (5)
- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 樹々の中 小天狗飛び交う 太龍寺 | 21 番太龍寺、ケーブルから、捻挫のお陰 |
| ・再発心：立江～ | |
| 笠白衣 よけ去るダンプに ヒヤヒヤリ | 立江寺～生名 |
| 善根の 自慢は墨絵 紙の筆 | 立江寺～生名 |
| 再発心ホッソ お杖で歩む 捻挫道 | <u>10月21日</u> 19 番立江寺参詣、お杖買う |
| 乳母車 巡礼お婆も 托鉢す | 22 番平等寺山門前、境内の托鉢は禁止 |
| 次々に お札接待 とまどいし | 22 番平等寺手前、千円札を次々に渡す婦人 |
| お四国も 顔さわやかに 越の茶屋 | 23 番薬王寺手前、愛嬌女将、 <u>マドンナ</u> |
- (6)
- <修行シユキョウの道場>
- | | |
|-------------------|--|
| ゴロゴロと おどろおどろの 淀ヶ磯 | 伏越岬フコエミサを過ぎた海岸 |
| 海原に 向けて不浄も お杖持ち | 伏越岬フコエミサを過ぎた海岸 |
| 夜昼も ニンニクタタキが 修行源 | 高知のカツオが美味しい |
| タタキ焼き 造り天ぷら アサリ汁 | 尾崎・民宿とくますの夕食 |
| 健脚は 真夜龍立ち 宵室戸 | 24 番最御崎寺、民宿室戸荘、23～24 番 84.4km ² 位 奈良学園前住人 70 歳、読経せず山門で合掌のみ |

(7)

奈良去りて 室戸で明星 口に入り 御蔵洞ミカト、19歳で籠り悟りを得る

「三教指帰サコウツイ」空海著

虚空蔵菩薩のノウボリ アキヤシャ キャラバヤ オン アリキヤ マリ
ボリソワカ という陀羅尼を百万回唱えるならば、あらゆる種類の經典の
教えを理解でき、暗証することが可能」との仏陀の言葉を信じ、太龍ヶ嶽
によじ登り、室戸岬で修行した。

土州室戸の崎に勤念ゴソネす。谷、響きを惜しまず、明星、来影ヲイイす。

「御遺言ゴユコウ」空海の弟子編

土佐の室生門崎ミコトサキに寂留す。心に観ずるに、明星口にいり、虚空蔵光
明照らし来って、菩薩の威を顕アヲす。

・法相サウショウの むろ戸といへど 我すめば 有為の波風 よせぬ日ぞなき
空海作

悟りを開き、自称「無空、如空、教空」などを「空海」に改める。

(8)

句碑に立つ 白衣も粹に もみじ舞う 24番最御崎寺、熱海麗人、鉄道バスで6回目、
マドンナ「私は遍路もどきよ。番外にもいいお寺が多いですよ」

お大師も お乗りや遍路の バスツアー 24番最御崎寺宿坊はバス団体客で満室

逆さ打つ 白衣の夫婦の つつましき

26番金剛頂寺～、新潟老人海岸線の先から合掌、相互礼拝

順打ちの 標識さがせぬ 逆さ打ち 標識は順打ち用

馬目樫ウマカシ 強き炭火で 蔵屋敷

26番金剛頂寺～、吉良川「カフェ&スペース蔵空間」

明治初頭に紀州製炭技術を導入し繁栄、旧富者屋敷、池田夫妻

(9)

テレビ見て ニタリ顔して 筆を取る 32番禅師峰寺ゼンゾフジ、納経所係り

浜狭し 五色石なく 竜隠る

桂浜、新設防潮堤で土砂流れ変化、松も茂る
桂浜アイスクリン売りの女性の昔話

お賽銭 こんなにありや 桶二杯

33番雪溪寺にて、17時納経所閉門

洗濯に 湯は贅沢と 我に説く

33番雪溪寺前、民宿高知屋女将、マドンナ

早や立ちに 三文接待 有難や

33番雪溪寺の2～3軒先の婦人より千円接待

イセエビで 就活励まし 井ノ岬 37番岩本寺～、大分37歳、独登山靴ローパー履く
再就職して結婚、母を安心させたい

(10)

新書版 褒めすぎ照れて 手も休め 38 番金剛福寺手前、久百々クモ女将、マドンナ
岩波新書「四国遍路」著者辰濃和男氏が褒める
P109「食べる まごころで接すればいいんだ」

補陀落の 浄土あらむや 光る海 38 番金剛福寺、足摺御崎 37～38 番 86.7 k m1 位
補陀落ワラカ：梵語ポータラカから来た言葉、インド方の海の果ての観音菩薩浄土

船底で 運命サメと涙 補陀落僧 一定年齢で強制的に船送りする風習あった由

ジョン万の 浄土は東方 ホノルルに ジョン・万次郎は遭難で鳥島で 143 日滞留
米国捕鯨船救助→ホノルル→米本土、中浜万次郎の中浜は岬の北西の地名

○色紙「亭主 酒に酔わず 妻に酔う」

39 番延光寺エンコウジ 山門下、民宿しま屋女将、マドンナ
女将のネットくくももーしまやーいそや>でサービス良好

(11)

<菩提ボダイの道場>

くれなずむ 峠で客待つ ライトバン 40 番観自在寺～、磯屋旅館女将、マドンナ

行きずりの 恋の朝立ち 四人づれ 磯屋 2～3 日前、旅日記に記名あり、菩薩の位？
理趣経（般若波羅蜜多理趣経）：「妙適ミョウテキ、欲箭ヨクセン、触シヨク、愛縛アイバク
一切自在主清浄の句、是菩薩の位なり」。自在とは生理的愉悦、宇宙そのもの。

手を合わす 農婦にハッと こうべたれ 島津～、山間の村

柿をむく 農婦のもろ手 慈悲のしわ 島津～、山間の村

(12)

コスモスの 導く如来は 牛馬守護

42 番仏木寺、牛に乗って来た大師が楠で大如来を彫り、本尊とした。街
道約 700m に中高生の発意で春はチューリップ、秋はコスモスが咲く。

おはようの 声なし学区 霊寺なし 伊予大洲～内子、中学の生徒達

車道でき 娘湯町に 村ひなび 小田町突合ツアツ、パン屋の女将、主人は町会議員

門松で 一年稼ぐ 霜の月 小田町日野川の 11 月、農婦「小泉首相、頑張って！」

底冷えを 癒すお爛の 般若湯 44 番大宝寺宿坊、43～44 番 70.2 k m3 位

中札所 峻険霊場 菩薩の行 45 番岩屋寺、距離 755.6 k m 約 2/3、残り約 444 k m

和尚でも 参道登る 修験寺 45 番岩屋寺、車道からの長い石段

(13)

そそとした 佳人の所作に 忘我境 46 番浄瑠璃寺納経所、お内儀佳人、マドンナ
お茶接待所作が真に風雅、当寺だけ写真なし

道を問う 皮ジャンハーレー お杖積み 54 番延明寺エンミョウジ ~ 55 番南光坊
黒光るハーレー、黒皮ジャンパー若者が遍路道を問う

お大師で 地元交流 文化寺 58 番仙遊寺和尚が地域活性化、立派なホール有り

肥汲みの 苦勞が結ぶ 水洗便 58 番仙遊寺の和尚の若き試練

紫の 矢がすりの書士 筆さらり 59 番国分寺納経所の朝、お内儀、マドンナ

谷あいを 散り埋む白い 都会ゴミ 60 番横峰寺から S 字型に下降するバス道
弁当箱による環境汚染、世界遺産登録を阻害

(14)

首切りに 負けじと闊歩 若き輩 63 番吉祥寺 ~、再就職期す大分君、埼玉君

歩く行 かなめは靴と 論す我 石鎚山下山の埼玉君傍に坐す、安い靴自慢

摘みし葉を 託す老婆の しわゆるむ 64 番前神寺マカシの手前、痴呆症

園児らの ガンバッテネーに 笑顔むけ 64 番神前寺マカシ ~ 伊予三島

豊作で 籠ごと持てよと 乞う農夫 65 番三角寺 ~、ミカン豊作で処分困難

(15)

<涅槃の道場>

お歩きを 初めに褒める 朝の行 75 番善通寺和尚、読経前に褒めるのは異例

写真をと 乞われてにっこり 手にお杖 84 番屋島寺、札幌の車椅子婦人、夫が押す

妻代わり 娘気遣う 辺地の父 84 番屋島寺 ~、ささや旅館、二組の娘、マドンナ

あなどれぬ お杖背にして 岩よじる 88 番大窪寺の裏山、女体山標高 793m

頂で お大師使いか 犬が待ち 女体山

(16)

死の衣装 結願すれば 生き仏 12月5日 88番大窪寺、通算51日(中断除く)

遍路とは 感謝を悟る 歩く行きの 88番大窪寺

結願も 余生の区切り また一番 88番大窪寺

赤飯に お四国なさけ こもりおり 88番大窪寺下、民宿八十窪の結願祝膳

涅槃とは 結願宿の 大いびき 88番大窪寺下、民宿八十窪で熟睡

納経書 狙うぬすっと 高値売り 85~88番

納経書約2000+納経代300x90ヶ所=29000円→販売10万円?

(17)

<発心ハジの道場、結願お礼詣で>

除夜の鐘 遍路で聴くよと 娘立つ 3~2番女学生会、安全を注意、未来のマドンナ

紅葉に 立ちて戻りし 師走かな 12月7日 1番霊山寺に結願お礼参り

阿波土佐に 伊予讃岐の輪 曼荼羅路 1番霊山寺

曼荼羅を つつむ四海は 如来の手 1番霊山寺

四国来て お四国さんに 四国の医 お四国病院、歩行の自然治癒、薬から開放

四国行き お四国終えて 四国病み 四国病、四国への恋、遍路に又出たくなる

(18)

<高野山詣で、結願報告>

ガタゴトと レールの響き また新た JR板東~徳島

大師留守 お遍路守りで 忙しや 12月9日 高野山、金剛峰寺、奥の院

◎仲川忠道さん著「退職したら お遍路に行こう」(大手本屋で入手可能)

仲川さん(三重県)とは、遍路道で5~6回お会いし、同宿。

へんろ行き 何を悟ったと 言われても 歩いたことは ほんとに楽しい

八十八歳で 八十八ヶ寺 歩きたし 実現可能な 夢としてある

合掌